

赤ちゃんの温もりから命の尊さ学ぶ

車力中学校で「赤ちゃんふれあい教室」



子どもを育てる喜びや大変さを学ぶ



最初にお母さん方の話を聞く



手作りの人形で赤ちゃんをあやす



将来は「イクメン」!?



おもむつの取り替えも体験



授乳を体験しながら命の大切さを感じ取る

9月6日、車力コミュニティセンターで車力中学校3年生46人を対象に「赤ちゃんふれあい教室」が行われました。

車力中学校では、思春期に命の尊さを肌で感じ、父性、母性を育んでもらおうと、同教室を総合的な学習の授業に取り入れています。生徒は、事前に沐浴人形を使って、赤ちゃんの抱き方や寝かせ方などを保健師から指導を受け、本番に臨みました。

この日は市内の赤ちゃんとお母さん、お父さん16組が参加し、6班に分かれ赤ちゃんとお対面。生徒は、最初は緊張した面持ちで赤ちゃんをおさるおさる抱きかかえていましたが、時間が経つにつれ、ミルクを飲ませたり、手作りのおもちゃであやしたりするなど将来のパパ、ママ振りを発揮していました。

工藤聖人君は「泣いている赤ちゃんをあやすのは大変だったけどすごくかわいかった。赤ちゃんに触れ合い命の大切さを感じた」、長谷川華音さんは「お母さん方の笑顔が印象的で、笑顔が大事だと感じた。将来は今日出会ったお母さんになりたい」と話していました。

工藤聖人君は「泣いている赤ちゃんをあやすのは大変だったけどすごくかわいかった。赤ちゃんに触れ合い命の大切さを感じた」、長谷川華音さんは「お母さん方の笑顔が印象的で、笑顔が大事だと感じた。将来は今日出会ったお母さんになりたい」と話していました。

この日は市内の赤ちゃんとお母さん、お父さん16組が参加し、6班に分かれ赤ちゃんとお対面。生徒は、最初は緊張した面持ちで赤ちゃんをおさるおさる抱きかかえていましたが、時間が経つにつれ、ミルクを飲ませたり、手作りのおもちゃであやしたりするなど将来のパパ、ママ振りを発揮していました。

工藤聖人君は「泣いている赤ちゃんをあやすのは大変だったけどすごくかわいかった。赤ちゃんに触れ合い命の大切さを感じた」、長谷川華音さんは「お母さん方の笑顔が印象的で、笑顔が大事だと感じた。将来は今日出会ったお母さんになりたい」と話していました。

参加したお父さん
お母さんからの
メッセージ



五十嵐 健二さん
真利子さん

(祐真ちゃんのお父さん、お母さん)

育児は大変というイメージがあるかもしれませんが、赤ちゃんの笑顔を見ればやっています。大変なことより楽しいことの方が多いので男性の方も育児を楽しんでください。



松橋 博美さん

(姫音ちゃんのお母さん)

今の時代、育児はお母さんだけでなく、お父さんの協力も必要です。夫婦で力を合わせて、すてきな家庭を築いてください。